

# テーマ（事務時間削減による負担軽減と生産性向上）

法人名：社会福祉法人 菊愛会  
事業所名：生活介護事業所ほほえみ  
主な提供サービス：生活介護

## 機器導入前の事業所内の状況

◆様々な記録類などの事務作業が年々煩雑化していることで、支援スタッフが支援以外の業務に時間を多くとられることで時間外での業務になり、スタッフ間での口頭などによる伝達が主であったため、情報共有の漏れなどがあった。

### 業務の非効率

◆多数の書式、複数の記録用紙があり、それぞれに手書きで記入していることで時間と労力がかかっていた。また、口頭での情報共有などにより、うまく伝達できていない部分があった。

### 職員の負担増加

◆手書きでの記入には時間がかかる為、支援をしながらリアルタイムで記録を行うことが難しい場面もあり、記録の記入漏れなどが見られた。書類を探す際にも時間を要していた。送迎等の時間もあるため、記録の負担がかなり大きい。

職場環境の課題  
・  
・  
・

### 支援の質・量の確保

◆記録漏れがあったり、情報共有がうまくできていなかったことで、支援提供に対しての情報が正確に取れずPDCAサイクルが不十分であった。

### 人材確保・定着

◆記録業務だけで時間と労力を使うため業務の負担量が多かった。

後から記録を行うことも多く、記入漏れや他の職員への状況聞き取りなどへも時間を要している。

# テーマ（事務時間削減による負担軽減と生産性向上）

## 機器導入に至ったきっかけ

◆導入以前は記録等に要する時間や負担が大きく、日々の事務作業にかけられる時間が限られていた。導入により事務作業にかかる職員の負担軽減が図れ、情報共有を円滑に行えると考えた。

記録時間が削減できることでその時間を支援に有効活用できる。

## 導入した機器

◆Apple iPad 5台  
(支援記録システム導入用)

## 活用方法・活用場面

- ◆業務記録
- ◆医務記録
- ◆支援手順書
- ◆情報周知・共有

など



# テーマ（事務時間削減による負担軽減と生産性向上）

## 業務の効率化・生産性向上

◆記録システムにより、時間短縮で記録ができ、リアルタイムで視覚的に情報共有を行うことが可能となった。記録に取られていた時間を他の業務へ活用でき、効果的なPDCAサイクルにつながる。事業所間の情報共有も徹底でき共有漏れが激減できる。

## 支援の質・量の向上

◆記録システムにより、情報共有がスムーズになり、写真なども取り入れることでより支援の統一化が理解しやすくなった為、個人個人の支援のバラツキが減り、統一化ができるようになった。利用者さんの状態把握もタブレットにて把握できるため、今の利用者さんの状態に合わせた支援を行える。

## 職員の負担軽減

◆タブレット端末により、記録をリアルタイムかつ効率よく記入することが出来ている。一人当たり1時間弱/日ほど記録時間の削減ができています。音声入力も可能なため更なる負担軽減とできる。

## 人材確保・定着

◆記録システムで記録を一元化できるようになり、端末のみでほとんどの書類を整理することが可能になったことで職員の負担軽減と繋がっている。

職場環境の改善へ

## 職員の声や今後の展望等

◆導入初期は大変であったが、スムーズに運用できるようになってからは、飛躍的に事務作業が軽減された。今後はインカム機能を追加していくことで更に効率的な業務を行えるようにしたい。